

研修会名	第2回アディクション心理臨床研修会 インターネット依存・ゲーム障害に公認心理師は何ができるか		
企画委員会	アディクション臨床委員会		
企画主旨	<p>インターネット依存・ゲーム障害関連問題は、教育・医療・司法・産業・福祉・行政など、公認心理師が携わる多岐にわたる領域において、様々に形を変えて起きてくる問題である。久里浜医療センターでは2011年、インターネット依存専門治療外来を開設し、臨床にあたるとともに、WHOのコラボレーションセンターとして、ゲーム障害のICD-11収載に携わってきた。このような立場から、インターネット依存・ゲーム障害は、公認心理師が活躍できる分野であり、活躍すべき分野だと感じている。</p> <p>午前中は各国のインターネット依存研究者を牽引し、ICD-11収載に向けWHOに働きかけてきた久里浜医療センター樋口進院長より、公認心理師が持つべき基礎的・総論的な知識を解説していただく。午後は、同センター主任心理療法士三原副委員長より、明日から臨床現場で使える実践的・各論的な知識をお伝えする。</p> <p>最後に信田委員長より、インターネット依存・ゲーム障害を含む依存症関連問題に対して公認心理師ができること、すべきことについてコメントいただき、依存症関連問題における心理職の役割について皆で考えを深める機会にしたい。</p>		
開催日	2021年 10月 24日 (日)	時間	開始10:00 終了 16:00
対象者・定員	公認心理師その他心理職、 守秘義務のある専門職、	定員	300名
受講料	会員:3,000円、 非会員:6,000円		
研修単位	テーマ別研修:5単位(分野共通)		

【プログラム:ZOOM WEBINAR】		
10:00-10:05	司会	平野 学 (平野カウンセリングオフィス)
10:05-12:00	講義	「インターネット依存・ゲーム障害の基礎知識」 樋口 進 (久里浜医療センター) (講義後休憩をはさみ質疑応答)
12:00-13:00	昼休み	
13:00-15:10	講義	「インターネット依存・ゲーム障害の心理臨床の実際」 三原 聡子 (久里浜医療センター) (講義後休憩をはさみ質疑応答)
15:10-15:15	休憩	
15:15-15:55	コメントと 全体討論	信田 さよ子 (原宿カウンセリングセンター)
15:55-16:00	事務	アンケート記入、他

注)当協会会員の本研修の修了履歴は当協会で管理しますので、専門認定制度用の受講証明書の発行はいたしません(ご自身で記録しておいでください)。

公認心理師の専門認定制度に加えて、学校心理士の研修ポイント、臨床心理士の参加者が3割以上の場合の臨床心理士研修ポイントをそれぞれ申請予定です。専門認定制度以外、対象となるのは一つの資格だけになります。また、研修証明書は、汎用公認心理師研修証明書あるいは承認された資格の研修証明書、一つを選択いただき発行します。

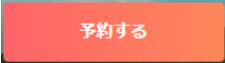


今回の研修会は、外部サービスを利用して受付を行います。

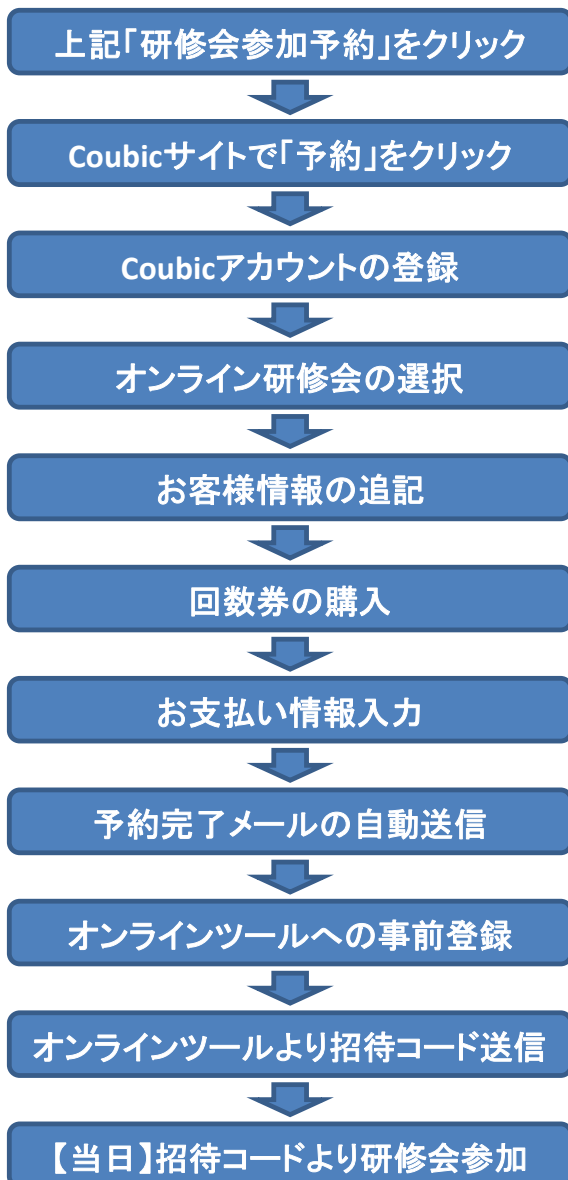
下記「研修会参加予約」より申送ください。

## 研修会参加予約

### ■ 申込開始

「研修会参加予約」をクリックし、Coubicサイトに移動したあと  をクリックしてください。

### ■ 受講までの流れ



(図解)簡易マニュアル

注1) 当研修会参加には、Coubicアカウントの作成またはFacebookアカウントでのログインが必要です。

注2) 支払い方法は「クレジットカード」のみとなります。「クレジットカード」以外を希望される場合は、下記までご連絡ください。

[kenshu-s@iacpp.or.jp](mailto:kenshu-s@iacpp.or.jp)